

J R 東 労 組 横 浜 地 本 青 年 部 情 報

Truth ~ 真 実 ~

J R 東 労 組
横 浜 地 本
公 式 H P



第 1 7 号

2 0 2 0 年 2 月 1 4 日 発 行

発 行 責 任 者 岡 本 洸 太

編 集 者 教 宣 部

青年部から未来をつくる座談会 開催!

横浜地本青年部は2月9日、横浜地本大会議室において「青年部から未来をつくる座談会」を開催し、「新たなジョブローテーション施策」と「変革2027」の2部構成で作り出してきました。

「新たなジョブローテーション施策」については、昨年9月に中央本部が作成した職場討議資料を参加者全員であらためて読み合わせを行いました。本部本社間の団体交渉で確認してきた事を踏まえつつ、施策に対して「反対」ではなく「いかに施策をより良いものにつくり上げていくか」を重点的に、職場での課題や悩みなどを共有しました。また、「変革2027」については、地本青年部が用意した討議資料を活用しながら、グループ経営ビジョン「変革2027」が昨年7月に発表されて以降、各系統問わず、施策がどのように進んできているのかを確認しました。



参加した青年部員からは「昨年乗務員勤務制度が改正されて行路自体が重くなっているせいか、事象が多発している」「要員不足により休日出勤が常態化している。働き方改革といいつつ何も変わっていない」という意見や「他区所で発生した事象を他山の石として活用することも重要だが、うまくいっている事象や『なぜミスを防げたのか』といった『成功体験』を広めていくことも重要なのではないか」という意見も出されました。またJR東労組の必要性にも触れ、「こういった座談会を通じてシステムを超えた仲間と議論できる場があることはいいことだ」「座談会だけでなく、職場では仲間が少なくてもサークル活動を通じて組合員の居場所をつくってあげることも重要なのではないか」といった前向きな意見も出されました。

施策に対して一方的に「反対」を叫ぶのではなく、働く側である私たち青年部員がいかにして施策をつくりあげていくのかということが重要であり、JR東労組運動の根幹でもあります。今後も「集まる場」を通じて、青年部員・組合員のためのJR東労組運動を展開していきます。

青年部員の声を基礎にした新生JR東労組運動を

横浜地本青年部は今後も継続して展開していきます!